

# 山下洋輔

スペシャル・ビッグバンド

日本を代表するジャズピアニスト山下洋輔が、トップミュージシャンたちに呼びかけて結成した山下洋輔スペシャル・ビッグバンド。ジャズやクラシックの名曲を斬新なアレンジで演奏し、圧巻のステージを繰り広げるこの驚異のバンドが所沢ミュージズに登場する。トリオやソロとしても国内外で幅広く活躍する山下洋輔に、ピアノとの出逢いや独特の演奏法を始めたきっかけなど、多岐にわたる話を聞いた。

## 幼少期、ピアノとの出逢い

生まれたとき家にピアノがあるという幸運な子どもでも、そのピアノをいたすら弾き出したのがピアノを始めたきっかけです。  
中学3年から習得を目指していたジャズのやり方を一応覚え、高校3年のときにプロのバンドから声がかかり17歳でデビューしました。その後は、国立音楽大学の作曲科に通いながらピアニストとしてプロ活動をしていましたが、楽譜なしで即興演奏をすると同級生がびっくりしました。クラシックとの棲み分けのヒントになりました。

## 山下洋輔トリオ誕生の裏側、世界へ

実は若い頃、病気で1年半演奏できない時期がありました。その間に溜まりに溜まったウツパンをぶつけた結果、それまでの規則を無視して自分の音を出すことができました。これが中村誠一「テナーサクセス」、森山威男「ドラムス」とのトリオ結成（1969年）のきっかけです。  
思い出のライブは、1974年のドイツ・メルス市でのジャズ・フェスティバルでの「成功」でしょうか。我々は普通に思いつきやっただけですが（笑）。アンコールが止まらず、その年のベルリン・ジャズフェスに急遽呼ばれるという展開になりました。  
海外の大きなフェスティバルにはほとんど出ました。モントルー・ジャズフェスで、セシル・テイラーの前にやったことが忘れられません。

## 山下洋輔ニューヨーク・トリオ

1984年からは、トリオを解散し一人でやっています。またグループでやりたいなくなり、ニューヨークで一か



山下洋輔トリオ（坂田明：アルトサクセス、小山彰太：ドラムス）（1976年）



ニューヨークのジャズクラブ「スイート・ベイジル」での山下洋輔ニューヨーク・トリオ初ライブ（1988年）



オーチャードホールでの山下洋輔スペシャル・ビッグバンド初コンサート（2006年）



東京オペラシティ・コンサートホールでのセシル・テイラーとのデュオ・コンサート（2007年）



自宅で猫とくつろぐ

ら新人としてやり直そうと思いい、1988年に山下洋輔ニューヨーク・トリオを結成しました。  
セシル・マクビー、フェローン・アクラフの2人とはそれまで共演した経験はなく、初対面でニューヨークのジャズクラブ「スイート・ベイジル」に出演したときは興奮しました。その模様は、ライブ・アルバム「クレッシェンド」として残されています。以降、今年で結成30周年を迎える長寿グループとして活動を続けてきました。

## 敬愛するアーティストと思い出の共演

好きなアーティストは、スイング時代はデュー・ウィルソン、モダンジャズ時代はハンブトン・ホース、フリージャズ時代からはセシル・テイラーです。  
セシル・テイラーとデュオをできたことや、オーネット・コールマン・グループの日本ツアーに参加して演奏できたことは印象深いです。  
好きな曲は、現在はコール・ポーターの歌曲「Every Time We Say Goodbye」です。歌詞と和音が絶妙に呼応し合う箇所があります。

## 所沢ミュージズ公演に向けて

ビッグバンドが出す豪華な音と構成のセンス、それから一人一人のソリストの即興演奏にご注目ください。我々と一体となってお楽しみください。

## 山下洋輔スペシャル・ビッグバンド

自分の曲をビッグバンドでやりたいようになって2006年に結成し、多くの素晴らしいミュージシャンと出逢える喜びを得ました。特にアレシジャ、コンダクターの松本治さんとの出逢いは貴重です。  
筒井康隆さんに「脱臼したボレロ」と言っていたいただいたビッグバンド版の「ボレロ」は所沢ミュージズでもやります。

**山下洋輔  
スペシャル・ビッグバンド・コンサート2018**  
7月22日(日) 15:15開場 16:00開演 アークホール  
S席¥6,000 A席¥5,500 **好評発売中**  
出演◆山下洋輔[ピアノ]  
金子健[ベース]、高橋信之介[ドラム]  
エリック宮城、佐々木史郎、木幡光邦、高瀬龍一[トランペット]  
松本治、中川英二郎、今込治、山城純子[トロンボーン]  
池田篤、米田裕也、川嶋哲郎、竹野昌邦、小池修[サクソ]  
曲目◆エリントン:「極東組曲」、ラヴェル:ボレロ  
山下洋輔:組曲「山下洋輔トリオ」ほか  
※未就学児の入場はご遠慮ください。

# SPECIAL BIG BAND CONCERT 2018

Photo: Eiji Kikuchi



自宅で妹と親戚の女の子と演奏を楽しむ。ジャズを弾き始める前（13歳頃）



浪人時代の仕事先のクラブにて（19歳頃）